

文芸書・音楽書・新刊書
ご担当さま



新刊委託申込 10月4日迄
FAX:03-6913-2690

音楽家として高い評価を受け、書き手としても注目を集める著者による、これまでの集大成となる待望のエッセイ集

彗星の孤独 寺尾紗穂 著

私も父も彗星だったのかもしれない。暗い宇宙の中、それぞれの軌道を旅する涙もろい存在。ふたつの軌道はぐるっと回って、最後の最後でようやく少しだけ交わった。そんな気がした。——「ふたつの彗星」



撮影：植本一子

寺尾紗穂 SAHO TERAHO

音楽家。文筆家。1981年11月7日東京生まれ。2007年ピアノ弾き語りによるアルバム『御身』が各方面で話題になり、坂本龍一や大貫妙子らから賛辞が寄せられる。以降、アルバム『御身 onmi』『風はびゅうびゅう』『愛の秘密』『残照』『青い夜のさよなら』『楢円の夢』『私の好きなわらべうた』『たよりないもののために』をリリース。並行して伊賀航、あだち麗三郎と結成したバンド「冬にわかれて」の始動、坂口恭平バンドにも参加。活動は、映画の主題歌提供、CM音楽制作（ドコモ、森永など多数）やナレーション、エッセイやルポなど多岐にわたる。新聞、ウェブなどで連載を持ち、朝日新聞書評委員も務める。著書に『評伝川島芳子』『愛し、日々』『原発労働者』『南洋と私』『あのころのバラオをさがして 日本統治下の南洋を生きた人々』、編著書に『音楽のまわり』がある。

遠くて遠い父、娘たちのぬくもり、もう会えない人と風景——未婚での子育て、混沌とした結婚とようやく至った離婚。歌うことと書くことだけ、いつも手放さなかった。ひとりの人間として、母として、女として切実に生きる日常を、世界を、愛おしく、時には怒りにも似た決意を持って綴る。闇から明かりさす世界に向かう、光のような言葉。亡くなった父親について書き、大きな反響を呼んだ「ふたつの彗星」をはじめ、新聞、雑誌、ウェブ、これまで様々な媒体で書いた文章の他に、大幅に書き下ろしを追加。唯一無二の文章家によるエッセイの到達点。



『彗星の孤独』

寺尾紗穂 著

ISBN:978-4-909048-04-2

C0095

本体 1,900 円（+税）

四六判 仮フランス装 320 頁

10月16日取次搬入予定

スタンド・ブックス
FAX:03-6913-2690

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-24-17 TEL:03-6913-2689 営業部：関田
Email: info@stand-books.com Web: www.stand-books.com
契約取次店：トーハン・日本出版販売・大阪屋栗田・八木書店

貴店印	希望配本数	サンプル希望 e-mail
ご担当	様	部
寺尾紗穂著 彗星の孤独		
ISBN:978-4-909048-04-2 C0095 本体 1,900 円+税 スタンド・ブックス		